

# 「60・3」粉碎へ！ 国鉄 労働者は、団結して闘おう



みぞれ雪をついて、動労千葉・国労両青年部の固いスクラムデモが構内を掃蕩。  
(1月29日、津田沼電車区)

## 日刊 動労千葉

85. 1. 31

No. 1852

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（二）七二〇七

### 津田沼で、動労千葉―国労 両青年部が共闘集会(1/29)

一月二十九日、十二時より、津田沼電車区庁舎前で国労津田沼電車区分会青年部と動労千葉津田沼支部青年部共催による「60・3」粉碎総決起集会が開催された。集会には八〇名が結集し、動労「本部」革マルの裏切り、屈服を許さず、国労 動労千葉共闘で「60・3ダイ改」阻止へ断固として闘う事を確認し、構内デモのち全員で区長抗議行動に決起、さらに第二波、第三波の共闘行動で「60・3」阻止へ闘いぬくことを誓いあった。

#### 「津田沼支部通信員」発

意を明らかにした。

山下支部長、織戸分会長が「60・3」決起の決意表明

最後に決意表明に起った津田沼支部副青年部長は「『60・3』攻撃は許せない。3時間乗りっぱなし、メシもクソもできない。俺たちは機械でも奴隷でもない。三月実力決起で全国の労働者の先頭で闘う」とのべ、津田沼電車区分会小林副青年部長も「われわれに屈服・妥協は許されない。分会青年部は『60・3』ダイ改攻撃と対決し、三月国鉄決戦として動労千葉と連帯し闘う」と闘う決意を明らかにした。国労青年部鶴岡常任の団結ガンバローで集会を終了し、ただちに抗議行動に移った。

#### この闘いを突破口に「60・3」 実力決起へばく進する

構内を圧倒するデモのち、区長抗議行動へのぞんだが、青年労働者の怒りに圧倒された区長は逃亡し、出てきた首席助役も「人が多すぎるから答えられない」と居直りと、シドロモドロの対応に終始、怒りに油をそそぐものとなった。

両青年部は、労働者の首を切る一方でさまざまな労働強化を強制しながら、全く無責任な対応を続ける当局への怒りも新たに、第二波、第三波の共闘行動に撃って出る事を確認し、全行動を終了した。

政府・国鉄当局の国鉄労働運動解体攻撃の中で動労「本部」革マル、鉄労などが総屈服し、「60・3」闘争も後景化され、「再建」論議が横行する状況下でかちとられたこの国労、動労千葉両青年部の共闘集会こそは、青年労働者は敵の攻撃に決して屈服してはいけないこと、理不尽な攻撃に対して断固として闘う力があることを当局に見せつけたものであった。この闘いを突破口に青年部は「60・3」ダイ改粉碎、国鉄決戦勝利の実力闘争貫徹へ向け、最先頭で闘いぬく。

集会は、動労千葉津田沼支部青年部鈴木書記長の司会のもと、電車区構内にひびきわたる怒りのシュプレヒコールで始められた。最初に来賓のあいさつに起った国労津田沼電車区分会の織戸分会長は「『60・3』・『首切り三項目』の攻撃が、現場にかけられている。今日の青年労働者の怒りを分会は受けとめ、動労千葉とともに連帯し、断固闘っていきたい」と述べられた。

#### 両青年部がさらなる 共闘体制の強化を訴える

つづいて、分会、支部の両青年部長があいさつにたち、国労津田沼電車区分会渡辺青年部長は、「両青年部共催による『60・3』粉碎の抗議行動が実現したことは実に画期的なことだ。動労『本部』は『働こう運動』『三項目をクリアーせよ』と全く許せない対応をしている。今日の闘いを出発点に『60・3』粉碎へさらに共闘を強化しよう」と訴えた。

永島支部青年部長は「いよいよ決戦の時だ。すでに青年部は『60・3』闘争の一環として寮費不払い闘争に突入している。『60・3』は国鉄労働者に屈服をせまる攻撃だ。動労千葉は絶対に屈服しない。三里塚と結合し、中曽根と対決する闘いこそ勝利の道だ。総武線をズタズタにする実力闘争で断固闘いぬく」と高らかに決